

授業料値上げに関する学生等の抗議行動について

平成 22 年 11 月 29 日

JSPS ロンドンセンター

11 月 3 日に政府が発表した高等教育を進展させる計画 (Progressive plans for higher education) において明らかになった、高等教育機関が設定する学費の上限額を £9,000 するなどの政府の方針について、英国では学生・教授らによる抗議活動が行われている。学生・教授たちの目的は、40%の Teaching grant 削減による学費上昇や地方政府からの奨学金の廃止に抗議することにある。

11 月 10 日には、ロンドン市内において数千人規模のデモがおき、保守党本部が襲われる事態にまでなった。多くの警官も負傷し、BBC によると 50 人以上の逮捕者がでていいる。保守党などを破損して逮捕された学生の中には、最長 5 年の収監が課せられた学生もいる。学生等による抗議行動はその後も続き、11 月 24 日には、「DAY X」という抗議行動が組織され、国会前や自由民主党を目指して数千人の学生がデモを行ったほか、オックスフォード大学のボードリアン図書館を含む 12 の大学などが占拠された。正午から始まったデモはおよそ 9 時間に及び、国会付近では、昼間から警察のバンが襲撃されたり、白煙が上がっていた。夜間には火の手が上がり、落書きや窓ガラスが割られるなどデモの参加者が一部暴徒化した。このデモでは、17 人が負傷し、32 人の逮捕者が出ていいる。なお、このデモには、高校生なども参加している。Youth fight for education という団体は、1 月に行われる試験時期まで抗議活動を継続する意思を持っている。

このような抗議活動に関して、UUK のスティーブン・スミス会長は、政府に対して支援内容等を説明するように求めているが、政府は、クリスマス前までに関連法案を採決することを目標としていると述べたのみとなっている。

総選挙時に学費の無料化を公約に掲げていた自由民主党内の意見は割れている。ニック・クレグ自由民主党首は、経済状況を直視すれば、学費の値上げに賛成せざるを得ないとしているが、党员の中には、方針変更に反対する立場の議員もおり、学費値上げに反対票を投じる動きもある。